



いちばん大きい鳥は何なの

ダチョウがいちばん

今生きている鳥の中では、いちばん大きいのはダチョウです。これまでに記録が残っている最大のダチョウは、体重156キログラム、地面から頭のとっぺんまでの高さが、274センチメートル、つまり3メートル近くもありました。ダチョウは、空を飛ばません。空を飛ぶ鳥の中でいちばん大きいのは、アフリカにいるアフリカオオノガンで、記録された最大の体重は19キログラム、つばさを広げた長さは、およそ2.5メートルあります。ヨーロッパや、アジアにもいるノガンも、最高で18キログラムあったそうです。

つばさを広げて最大なのはワタリアホウドリ

つばさを広げた大きさで、いちばん大きいのは、ワタリアホウドリです。1965年、アメリカの南極観測船がつかまえたオスのワタリアホウドリは、つばさを広げた長さが、3.63メートルありました。動物をとらえて食べる最大の鳥は、コンドルで、オスの体重は9～12キログラム、つばさを広げた長さは、3メートルをこえるほどです。

絶滅した巨大な鳥

今は絶滅してしまい、体の一部が化石で発見されている鳥の中には、巨大なものがいました。ダチョウのように飛ばない鳥の間では、1500万年～25000万年前、オーストラリアにいたドロモルニス・スティルトニが、体の高さ3メートル、体重500キログラムぐらいあったとされています。飛べる鳥の中では、600万～800万年前ごろ、アルゼンチンにいたハゲワシの間では、体重80キログラム、つばさを広げた大きさが、6～7.6メートルは、あったらうといわれています。（監修・今泉 忠明）

